

区分・種別	県指定天然記念物		
名 称	^{じせいち} イヨダケの自生地		
所 在 地	上浮穴郡久万高原町露峰		
所 有 者	久万高原町	管 理 団 体	
指定年月日	昭和24年9月17日		
	通称イヨス山と呼ばれる標高762mの山中にあり、自生地の面積は約66aある。イヨダケは暖地に多いゴキダケであるが、この種の竹はこの地方ではイヨス山でしか自生せず、一歩この山を出ると全く別の種類となっている。 イヨダケの直径は2～3mm程度で、長さ2m位の真っ直に伸びる細長い竹である。このため古来から、^{すだれ}簾の原料として重宝されており、すでに『源氏物語』や『枕草子』にもイヨス（伊予簾）の名があらわれている。 第二次世界大戦後荒廃していたが、地域住民の保護活動により往時の姿をとりもどしている。		

